

# 10月末組織人数 5,224人

昨年11月から10月までの1年間で53人の純増になりました。皆様に感謝申し上げます。

# 建 労 い わ て 月 刊 号

発行所  
岩手県建設労働組合連合会  
教 宣 部  
盛岡市本宮一丁目7番27号  
電話 019-631-3280  
FAX 019-635-4015  
発行者 藤井泰男

## 第58回全建総連 大会 新委員長に吉田三男氏 岩手県連高館副会長表彰される

全国建設労働組合総連合会（全建総連）第58回定期大会は10月25日から27日札幌市「ニトリ文化ホール」で、今回のメインテーマ「組織増勢の力で労働条件を改善し若者に魅力ある建設産業にしよう」が掲げられた会場に53道県連・組合1441人が参加して開催された。議長団に北海道連・東京都連・愛媛建労の仲間を選出し議事が進行されま

はじめに1年間の物故者352人に対し黙祷をささげた後、三浦中央執行委員長（委員長）が来賓、出席者、北海道連の方々へ御礼として昨年の福岡大会の決議内容について「設計労務単価が労働者賃金につながっていない、標準見積り福利厚生費請求で所得向上を目指す。社会保険未加入者対策は個人事業主への理解と支援対策を進めていく。アスベスト裁判は横浜地裁と過去4回の地裁では、国と企業の責任が問われた。

大会最終日27日には、初の高裁判決がある。まだまだ患者が出てくる。これからも仲間の救済にがんばりましょう。組織は6月現在で5年ぶりに62万人に達しました。厳しい状況だがさらなる拡大と強化を参加者と確認したい。今回の大会目標の賃金、労働条件を改善し若者に魅力ある建設産業に邁進しよう」と話されました。

続いて地元北海道連の工藤政志執行委員長があいさつ。来賓あいさつでは北海道知事、札幌副市長、各政党議員が全建総連への行動支援を約束しました。その後、第57年度経過報告・財政決算報告・会計監査報告が行われ質疑応答に入りました。質疑応答では神奈川県連からアスベストの勝利判決の御礼、福岡建労から土砂被災に対する御礼が語られました。

休憩をはさみ第58年度運動方針案・全建総連規約改正が勝野書記長より、第58年度一般会計予算案が中西財政部長からそれぞれ提案。質疑応答では沖縄県建設ユニオンより13人からスタートした組織が1300人にと達した報告、京都建労から法定福利費が取れない事、島根県連から後継者問題が語られ後継者への補助制度について要望があり、東京都連からは建設労働者自殺に触れた就業規則遵守の訴えがありました。1日目の最後には、第33回全国青年



退任する三浦一男氏(左)と新任の吉田三男中央執行委員長(右)



表彰を受けた高館博人副会長

表彰を受けた高館博人副会長が就任しました。退任あいさつ、新役員あいさつの後、大会を盛り上げた北海道連への感謝と次回大会が開催される岐阜建労からの挨拶と続き、参加者全員で「全建総連のうた」を斉唱。その後の団結カンパロウで拳を上げて閉会となりました。

◆全国各地に太子講の石碑があり、北上でも支部によっては石碑が建てられています。石碑には歴代の職人達の名前が刻まれていて、大工、左官の他に、石工、建具職人、かやぶき職人など現在では数が少なくなってきた職種も多くあります。これからも組合員の交流親睦の場として、継続していきたいものです。

## 県連定期大会日程決まる

今年度の岩手県連第56回定期大会の日程が下記の通り決まりましたので、ご案内いたします。よろしくお願ひします。

日 時  
12月10日(日)～11日(月)  
10時受付 10時30分開会

会 場  
盛岡市繁「愛真館」

## きずな

◆10月22日(日)、所属している北上建設組合では太子講(聖徳太子の祭儀)を行っていただきます。今年も北上で開催し、岩手県連からは高橋会長、中央ブロックからは高館副会長、沿岸ブロックからは及川副会長が参加。その他近隣の建設組合からもご出席頂き、50人の参加でした。

◆聖徳太子がどうして様々な職人達の信仰の対象になったかは定かではありませんが、寺院建立に大きな功績があった事、私達が使っている曲尺を発明した事と関係があるのではないかとされています。

◆太子講では聖徳太子を職能神として、信仰する同業の職人達が集まって聖徳太子像をまつり、御神酒、魚、野菜などを供え飲食をしました。賃金の協定など様々な申し合わせをしていました。まさに、現在の組合組織のはじまりと言えるのではないのでしょうか。

【教宣部 千葉節夫】